

2023年(令和5年)3月28日(火曜日)



営業部門を組織変更

三つに再編 専門性高める

兼松アドバンスド・マテリアルズ

兼松アドバンスド・マテリアルズ(KAM、東京都中央区)は、今年4月1日付で営業部門の大幅な組織変更を実施する。従来は「JIT事業推進部」のみだった営業本部の組織を、「非鉄金属部」「車載部品部」「先端電子部」の三つに再編し、より専門性を高めること、ならなる成長を目指す。

同社は、銅やアルミニウム、非鉄金属部では非鉄金属材料事業の再強化を図る。車載部品部では専門性を高めること、顧客に対する提案力強化やパートナーと連携した販路活動強化などを図り、価値向上を目指す。先端電子部はDX関連事業の強化に向け、ロボットやOLEED(有機ELディスプレイ)関連などの新たな商材を取り扱

い、同社の3番目の事業の柱に育成している。今回の組織改編によって、浅羽鉄平社長は「2020年の寒川商事(北九州市八幡東区)の買収により、当社はビジネス拡大への可能性が広がっており、新規ビジネスによる成長が描きやすくなっている。営業本部を3部門に分け、それぞれ専門性を高めていくことで、分拆力の向上やビジネスに合わせた人材育成、人脈育成を推進し、キメ細かい顧客対応に結び付ける。これにより、中期的な成長戦略を描いていく」と説明する。

また、「コーポレート本部」についても、「受け身の組織ではなく、仕掛ける組織としていくことで、業務体制を強化する」(浅羽社長)。

同社は、23年度(24年3月期)が現中期経営計画の最終年度に当たる。23年度から新組織を立ち上げ、24年度からスタートする次期中計に向けた戦略策定を推進する。

同社は、1978年に兼松の非鉄本部の関連会社として設立された「兼松金属販売」が、その後、兼松グループの組織再編などを経て、15年に兼松全額出資の新会社として設立された。

今回の組織改編による。今回の組織改編によ

今回の組織変更につ

「受け身の組織ではな



浅羽 社長

川商事(北九州市八幡東区)の買収により、当社はビジネス拡大への可能性が